

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	社会福祉センター耐震診断・改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	1	3	○
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	担当課室	高齢者支援課			
施策	112いきいきとした高齢社会の形成	担当課室長	國松 優			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	設計の内容を踏まえ、施設運用等について指定管理者と協議の上、計画的に工事を実施する。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	耐震改修事業は完了。
②①に基づく取組み結果	改修工事について、計画通り完了した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	社会福祉センター。	意図(対象をどうするのか)	施設の安全性の確保。
②事務事業の概要	社会福祉センターの耐震診断の結果に基づき、耐震改修工事を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	耐震改修工事を行うことにより、災害発生時における医療救護施設等として活用を可能とする。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	設計に基づき耐震改修工事を実施・完了し、安全性が確保された。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	社会福祉センター設置数	1	1	1	箇所	業務取得
	ii	社会福祉センター利用者数	30	35	28	千人	業務取得
	iii	構造耐震指標	0.66	0.61	0.88	IS値	業務取得
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	3,045	10,999	金額(千円)	内容		0	
国支出金(千円)		3,665	10,238	社会福祉センター耐震改修工事			
県支出金(千円)			761	社会福祉センター耐震改修工事監理委託			
市債その他(千円)		6,700					
一般財源(千円)	3,045	634					

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	耐震診断・改修事業は完了した。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1 終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	計画通り耐震改修工事を完了し、施設・利用者の安全性が確保された。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	耐震改修工事の実施。	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	計画通り耐震改修工事完了。	10,999	10,999	当初	10,999	H24からの繰越	10,130
				H24⇒25繰越		10,130	現年分
③達成状況	完了			補正			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	869		
				平成26年度への繰越額(単位:千円)		0	

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	社会福祉センター改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	1	3	○
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	担当課室	高齢者支援課			
施策	112いきいきとした高齢社会の形成	担当課室長	國松 優			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	施設の長寿命化を図るため、老朽化した外壁・防水、空調設備等の改修が必要である。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	改修工事設計に基づき改修工事を実施する。
②①に基づく取組み結果	効率的な改修を行うために必要な工事設計を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	社会福祉センター。	意図(対象をどうするのか)	施設の長寿命化、長期的に活用可能な施設を目指す。
②事務事業の概要	公共施設の長寿命化に関する基本方針に基づき、社会福祉センターの屋上防水・外壁等の主要部位について、改修を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	不特定多数の利用者があり、災害発生時等の応急活用の拠点となる社会福祉センターの建造物としての利活用向上を図る必要性がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	施設の外壁・内装から駐車場の改修ならびに電気・機械・空調・給排水等の各設備改修にかかる設計委託を実施し、26年度の改修工事に向けての準備を完了した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	社会福祉センター設置数	1	1	1	箇所	業務取得
	ii	社会福祉センター利用者数	30	35	28	千人	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	0	6,557	金額(千円)	内容	155,000		
国支出金(千円)		5,000	6,557	社会福祉センター改修工事設計委託	122,854		
県支出金(千円)							
市債その他(千円)					20,000		
一般財源(千円)		1,557			12,146		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	開設後39年が経過し、各設備等が耐用年数を超えているため大規模な改修の必要性・緊急性がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	計画通り改修工事の設計を実施した。(平成26年度改修工事を実施する)				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	改修工事の設計。	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	H26改修工事に向け、設計委託を実施。	8,400	6,558	当初	8,400	6,557	H24からの繰越	0
				補正			現年分	6,557
③達成状況	完了			流用・充当	-1,842			
④未完了・非着手の理由		平成26年度への繰越額(単位:千円) 0						

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	地域密着型サービス拠点整備助成事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	1	6	○
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	担当課室	高齢者支援課			
施策	112いきいきとした高齢社会の形成	担当課室長	國松 優			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成24年度選定委員会による運営予定事業者に対する助成。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	平成24年度の選定分については完了。 次回募集は平成27年度予定につき、平成26年度は休止。
②①に基づく取組み結果	計画通り予定事業者に助成金を交付した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	運営予定事業者。(平成24年度選定)	意図(対象をどうするのか)	事業の安定的な運営及び体制整備。
②事務事業の概要	介護保険事業計画に定める地域密着型サービス施設を運営する事業者に対し、県の交付金を活用して整備助成を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	地域密着型サービス事業及び地域密着型介護予防サービス事業の安定的な運営が、高齢者の自立支援の実現につながる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	施設を開設する選定事業者に対し、開設6カ月前準備に必要な助成を行い、安定的な施設運営及び体制整備を図った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	要援護高齢者数	3,302	3,583	3,793	人	業務取得
	ii	65歳以上の要介護認定率	12.9	13.3	13.5	%	業務取得
	iii	地域密着型サービス施設指定数	4	4	7	箇所	業務取得
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	10,200	16,800	金額(千円)		内容	0	
国支出金(千円)			16,800		地域密着型サービス施設開設等準備支援事業補助金		
県支出金(千円)	10,200	16,800					
市債その他(千円)							
一般財源(千円)							

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	選定事業者が「安定した質の高いサービス」が提供出来る体制整備。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	3休止
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	選考委員会で決定した事業者に対し、計画どおり助成を実施し、平成24年度選考分についての事務は完了した。次回募集は平成27年度を予定。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	選定事業者への助成。	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額			決算額		
②計画に対する事業実績	計画通り助成。	14,400	16,800	当初	14,400	16,800	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越			現年分	16,800
③達成状況	完了			補正				
④未完了・非着手の理由				流用・充当	2,400			
				平成26年度への繰越額(単位:千円)		0		